

相談援助演習Ⅱ

担当教員 増田 公香

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 第2学期

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。②個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により実施する。

【授業の展開計画】

- 01 シラバスの説明。アイスブレイキング。事例研究及び実技指導（ロールプレイ等）の意義の理解。
- 02 面接の過程の（インテーク・アセスメント・プランニング・支援の実施・モニタリング・効果の測定・終結・アフターケア）の理解
- 03 身体障害（社会的排除を含む）①事例の理解
- 04 身体障害（社会的排除を含む）②相談援助場面及び過程の理解
- 05 身体障害（社会的排除を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 06 知的障害（社会的排除を含む）①事例の理解
- 07 知的障害（社会的排除を含む）②相談援助場面及び過程の理解
- 08 知的障害（社会的排除を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 09 精神障害（社会的排除を含む）①事例の理解
- 10 精神障害（社会的排除を含む）②相談援助場面及び過程の理解
- 11 精神障害（社会的排除を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 12 高齢者（虐待を含む）①事例の理解
- 13 高齢者（虐待を含む）②相談援助場面及び過程の理解
- 14 高齢者（虐待を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
- 15 まとめ（面接の過程の理解）

【履修上の注意事項】

小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。

【評価方法】

授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。

【テキスト】

講義時に紹介する

【参考文献】

講義時に紹介する

相談援助演習Ⅱ

担当教員 橋本 眞奈美

配当年次 2年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- ①社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。
- ②相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。
- ③相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	アイスブレイキング、授業についてのオリエンテーション、事例研究の意義を理解する
2	面接のプロセス理解とその重要性について考察を深める
3	重複（身体・知的）障害（社会的排除を含む）①事例の理解
4	重複（身体・知的）障害（社会的排除を含む）②相談援助場面及び過程の理解
5	重複（身体・知的）障害（社会的排除を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
6	子ども（虐待を含む）①事例の理解
7	子ども（虐待を含む）②相談援助場面及び過程の理解
8	子ども（虐待を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
9	精神（発達）障害（社会的排除を含む）①事例の理解
10	精神（発達）障害（社会的排除を含む）②相談援助場面及び過程の理解
11	精神（発達）障害（社会的排除を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
12	高齢者（虐待を含む）①事例の理解
13	高齢者（虐待を含む）②相談援助場面及び過程の理解
14	高齢者（虐待を含む）③実技指導（ロールプレイ、モデリング）
15	相談援助場面及び過程の振り返りを通して、アセスメントからプランニングまでの面接過程の再確認

【履修上の注意事項】

社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。

【評価方法】

授業態度、積極的姿勢から20%
課題レポートの提出&内容から30%
試験から50%

【テキスト】

『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店

【参考文献】

必要に応じて配布、もしくは指示する

相談援助演習Ⅱ

担当教員 福崎 千鶴

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 第2学期

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基本的な知識、技術、価値を理解する。また、専門的な実践能力をつけるために、専門的援助技術を習得する。①総合的かつ包括的な相談援助について理解し考察する。②地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学び理解する。③個別指導および集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング、モデリング等）を中心とする演習形態により専門的援助技術を習得することができる。

【授業の展開計画】

相談援助実習・精神保健福祉援助実習及び社会福祉士・精神保健福祉士の業務に必要な知識・技術・倫理について、実技指導を中心とした演習形態の授業を通して体系的・理論的かつ具体的に習得する。

週	授 業 の 内 容
1	シラバスの説明 事例研究及び実技指導の意義を理解する
2	相談援助過程(インテーク・アセスメント・プランニング・支援の実施・モニタリング・終結)を理解する
3	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 身体障害(社会的排除を含む)①事例の理解
4	身体障害(社会的排除を含む)②相談援助場面及び過程の理解
5	身体障害(社会的排除を含む)③実技指導(ロールプレイ・モデリング)
6	知的障害(社会的排除を含む)①事例の理解
7	知的障害(社会的排除を含む)②相談援助場面及び過程の理解
8	知的障害(社会的排除を含む)③実技指導(ロールプレイ・モデリング)
9	精神障害(社会的排除を含む)①事例の理解
10	精神障害(社会的排除を含む)②相談援助場面及び過程の理解
11	精神障害(社会的排除を含む)③実技指導(ロールプレイ・モデリング)
12	高齢者(虐待を含む)①事例の理解
13	高齢者(虐待を含む)②相談援助場面及び過程の理解
14	高齢者(虐待を含む)③実技指導(ロールプレイ・モデリング)
15	総合的な相談援助過程(効果測定を含む)を理解する

【履修上の注意事項】

社会福祉士の相談援助場面を想定し、指定された事例をもとに予習復習をして、演習課題に主体的に取り組むこと。

学生状況をみながら特別講師による講話やフィールドワークを通して相談援助に伴う実践力の習得を図ることもある。事前に予習復習をしてくること(120分程度)。

【評価方法】

出席日数が3分の2以上あり、授業参加態度(予習・復習を活かした発表など)50%、課題レポート等50%により評価する。

【テキスト】

適宜、必要資料やプリントを配布する。

【参考文献】

適宜、紹介する。

相談援助演習Ⅱ

担当教員 田島 望

配当年次 2年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。②具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を身につけることができる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	シラバスの説明、相談援助演習の意義、方法の理解。（演習Ⅰのふり返りを含む）
2	ソーシャルワークの過程（インテーク・アセスメント・プランニング等）の理解
3	身体障がい（社会的排除を含む）の事例の理解
4	身体障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解
5	身体障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）
6	知的障がい（社会的排除を含む）の事例の理解
7	知的障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解
8	知的障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）
9	精神障がい（社会的排除を含む）の事例の理解
10	精神障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解
11	精神障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）
12	高齢者（虐待を含む）の事例の理解
13	高齢者（虐待を含む）の相談援助場面及び過程の理解
14	高齢者（虐待を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）
15	ふり返りとまとめ

【履修上の注意事項】

- ・相談援助演習Ⅰを修得済であることを前提とする。演習Ⅰでの学びを踏まえて取り組んでください。
- ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（60分）。
- ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（60分）。
- ・演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加（発言）を求める。
- ・毎回の講義を積み上げていくため、出席は必須と考えてください。

【評価方法】

演習の参加態度と授業内の課題への取り組み（40%）、課題レポート（30%）、学期末総合課題（30%）により評価します。

【テキスト】

講義内にて、適宜紹介・配布します

【参考文献】

講義内にて、適宜紹介します